



特集

『お店』と『お客さま』双方の取り組みが安全の基本

思いやりでつくる

仙台の新たな宴席スタイル



仙台商工会議所・みやぎ仙台商工会・仙台市が展開している「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」、その一番のポイントは、「思いやり」の気持ちで、「会社・お店」と「お客さま」、双方が感染症対策にしっかりと取り組むことです。市民全員の対策意識を高めれば、感染拡大を防止する効果は格段に高まります。そこで今月号では、忘新年会シーズンにあわせ、「**飲食時**」を想定した**お店と利用者が注意すべきポイント**を解説します。コロナ禍ではあるものの、私たちの生活の土台となる地域経済を回すには、それぞれが感染症対策をしっかりとった上で、お店に足を運ぶこともまた大切。「思いやりの気持ちで感染症対策に取り組む街・仙台」を合言葉に、みんなで心をひとつにして仙台から新しい宴席スタイルをつくっていきましょう。

飲食時こそ大切な  
飛沫感染防止の意識

「飛沫」は大きな感染要因のひとつです。飛沫と聞くと、くしゃみや咳をイメージしがちですが、実は普段の何げない会話も要注意。5分間会話をすると、1回の咳と同量の飛沫が発生するというデータもあるほどなのです。

ですから、飲食中でも会話をしながらにマスクを着用するのが望ましく、宴席の間それが煩わしい場合はハンカチで口を隠すなど、相手に飛沫を飛ばさないようにするのが、コロナ禍におけるエチケットと言えます。



1回の咳の飛沫 = 5分間の会話の飛沫

1回の咳と5分間の会話では同じ量の飛沫が発生。通常の会話時でも飛沫には十分注意しなければならない。

退治するには、きちんと両手が濡れるぐらいの量を取り、甲や手首も含めて数十秒かけてしっかりと塗り込むようにしなければなりません。

もちろん、手指だけでなく、店内で人の手がよく触れる場所も定期的にしっかりと消毒しましょう。

コロナ禍ではお酌NG  
食器やグラスも使い回さない

冬の宴席と言えば、温かい鍋料理が定番。しかし、コロナ禍では、取り分けが必要な鍋料理や大皿料理は避けましょう。注ぎつ注がれつというのもよく見られるシーンですが、口をつけたおちょこに、二つのとつくりでお酒を注ぎ合つのは控えるよう呼び掛けましょう。

健康管理は基本中の基本  
休憩室や喫煙スペースも要注意

注意する点はお店の裏側にも。まず何より重要なのは従業員の健康管理です。発熱等で体調のすぐれない場合、無理に出勤しないというルールづくりは、感染症対策の基本です。

さらに、休憩スペースで、つい気が緩み仲間同士マスクを外して会話に興じるということがあります。喫煙室などでもよくみられるシーンです。リラック



プロジェクトでは、飲食店での対策を伊達武将隊が紹介する「飲食店編」と「お客さま編」の2本の動画も作成。当所、仙台市、みやぎ仙台商工会のホームページで視聴可能のほか、「お客さま編」は街中のビジョン等でも放映中。

スしたい場所ではありますが、休憩室等でもマスクを着用する、マスクを外す際はソーシャルディスタンスをとるなどの意識を徹底しましょう。

大切なのは、感染症対策の「徹底」と「継続」、そして「その場にいる全員が感染を拡大させない意識を持つこと」です。お店の対策として、お客さま向けの注意事項を目立つところに貼り出したり、各卓にお品書きの要領で置いておいたりするのも良いかもしれません。また、予約客でなくとも、幹事の方など、どなたか一人だけでも連絡先を聞いておくと、万が一の後追いができ、お店とお客さまを守ることもつながります。

これからの忘新年会シーズン、「思いやり」の気持ちをみんなで持って、対策を万全に、楽しい宴席をつくっていきましょう。

10/30 (金)

体験・勉強会で  
コロナ禍の宴席を考える



3密回避や飛沫感染防止の重要性を解説する賀来先生(左)と吉田先生。



当所文化観光部会(菅原一博部会長)と、仙台ホテル総支配人協議会(後藤隆博会長)では、宴席の主催者となりうる業界団体等に、例年行っている忘新年会などを、感染症対策を講じた新しいスタイルで実施してもらおうと、コロナ禍での宴席のあり方を考える宴席体験・勉強会を実施。講師に東北医科大学の賀来満夫先生と東北大学大学院の吉田眞紀子先生を招き、実際に料理を配膳しながら、主催者・出席者・会場それぞれが取り組むべき宴席時の感染症対策を共有しました(47人出席)。

本体験・勉強会の資料は  
飲食店でも活用ください！

本体験・勉強会の実施にあたって作成した「主催者・出席者・会場 全員でつくる新しい宴席のポイント」の資料は、会場側の準備のポイントや、出席者が食事する際の注意点など、立場とシーンに合わせて感染症対策を解説しています。本資料はホテルを会場とした宴席をモデルにして項目を整理していますが、街中の飲食店でも取り組みに生かせる内容になっていますので、宴席の会場(お店)や、主催者(幹事)となる皆さんはもちろん、お客さまへの対策の呼びかけにも、ぜひご活用ください。

本資料は左記URLからダウンロードできます。



「新しい宴席のポイント」資料は賀来先生の監修で作成。本特集の内容もここから抜粋したもので、中では主催者・出席者・会場の対策を詳しく解説している。

本ページに関するお問い合わせ

総務広報グループ

TEL 022-2265-8182

https://www.sendaicci.or.jp/corona-pj.html





# 仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト 公式ロゴマークをみんなで活用して 「想いやりの気持ちで感染症対策に 取り組む街・仙台」の機運を高めよう!

「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」で使用している「感染防止 想いやり宣言 STOP!コロナ」のロゴマークは、企業・団体の皆さんにも広く利用いただけます。

感染症の拡大防止と経済循環の両立を図るためには、対策に努めながら仙台的な地域経済を動かす一員としての意識をみんなで共有することが重要です。**自社での取り組みにぜひ統一的本ロゴマークを取り入れていただき、「想いやりの気持ちで感染症対策に取り組む街・仙台」を全市一丸となって作り上げていきましょう。**

ロゴマークの使用申請は随時受け付けています。使用を希望する事業者の方は、仙台商工会議所ホームページで利用基準を事前に確認の上、専用フォームよりご申請ください。

## みんなはどう活用している？ 公式ロゴマーク活用例



(株)薬匠三全  
(青葉区大町)

ロゴマークを使って、自社の店名入りオリジナルステッカーを作製。お店入り口の消毒液付近に掲示。



(株)MMF  
(若林区卸町)

自社の封筒にシールで貼付することで、感染症対策に努めている事業所であることを対外的にアピール。

今回ご紹介した活用方法以外にも、名刺や商品パンフレット・リーフレット、ノベルティ、ウェブサイト画面でのバナーやアイコン等としての活用など、さまざまな使い方に対応可能です。皆さまの申請をお待ちしております。

問 総務広報グループ TEL 022-265-8182 URL : <https://www.sendaicci.or.jp/corona-pj/pj1.html>



## 感染防止対策運動 展開中!

お店に「想いやり宣言」のポスターを掲示して  
対策の機運を高めよう!

「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」では、「会社・お店」と「お客さま」双方に向けて、感染症対策の徹底と継続を呼び掛けています。

冬は例年ウイルスの活動が活発化する季節。安全・安心な日常を取り戻し、地域経済を回復させるためにも、全市一丸となって感染症の拡大防止に取り組みましょう!

仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト



問 仙台商工会議所 総務広報グループ TEL022-265-8182  
<https://www.sendaicci.or.jp/corona-pj.html>



お店の対策アピールに、お客さまへの協力呼び掛けに、ポスター掲出店増加中。A3サイズとA2サイズを用意し希望者に無料で配布しています。撮影協力：(上)すてーきはうす伊勢屋 クリスロード店(青葉区中央)

(右下)飲み喰い処 玄孫(青葉区本町)

## 大型ポスターを 仙台市本庁舎の東側壁面にも掲出しています

皆さんも、会社やお店の入り口付近等の目に触れやすい場所に掲示いただき、感染防止の意識を高めていきましょう!